

## 平成 30 年度 学校評価

### 1. 今回の学校評価で充実している事項

#### 1) 教授・学習・評価過程への高い意識と取り組み

国立病院機構および母体病院の理念に基づき、きめ細やかな教育が実施されている。毎年の自己点検・評価を基に、「重点事項」をとりあげ、課題の解決に向けて具体的な教育方略を用いて、改善のために努力している。平成 30 年度は「国家試験 100%をめざす」、「成人学習者としての社会的基礎力の育成」、「看護観の育成」、「その他：卒業生への支援、実習指導者研修の開催」への取り組みを掲げ、目標達成に向けて計画的に丁寧な教育がなされており、その点は高く評価できる。また、カリキュラム評価を基に、教育会議の中で改善点についての検討や、教師自身の学習会を開催など、主体的な取り組みは高く評価できるものである。

#### 2) 学生個々への学修支援と継続教育の促進

担任制による学修指導、国家試験対策への指導、心理士によるカウンセリングの実施など、学生個々に対する、きめ細やかな指導が充実している。また、看護観の育成強化を重点目標に掲げ、学年ごとに「看護を考える会」を企画し、実施していることは看護の継続的な学習を推進する意味においても高く評価できる。

#### 3) 高い就職率と卒業生支援対策

就職に関しては、看護師として国立病院機構病院へ 84.1%、神奈川県内へ 87.5%と高い就職率を維持しており、社会に貢献している点は高く評価できる。また、「里帰り企画」として卒業生の支援対策を継続させている。こういった活動は離職予防にも貢献でき高く評価できる。

### 2. 今後、課題となる点について

#### 1) 教科時間外の時間数増加について

看護観の育成強化、国家試験対策など様々な取り組みが高く評価できる反面、教科時間外の拘束時間が増加していることは一つの大きな課題と言える。このことは学生の主体的な活動を阻むことにも繋がりがねる。できるだけ、その取り組みを教科時間内に取り組むなど、工夫が必要だと考える。

#### 2) 学生のカリキュラム満足度について

卒業時の学生のカリキュラム満足度調査において全体平均が下降傾向にある。特に 2 点台（ややそう思う）が 7 項目（昨年 5 項目）と増加している。自由記述欄では、「教員によって差がある。」という記載が散見される。教育会議等でその原因について協議がなされ改善策が検討されているが、更なる検討を期待したい。

#### 3) 中長期的な財務管理について

大型校へ移行して 10 年目を迎えている。学生のカリキュラム評価の自由記述からも様々な設備や図書の実施への希望が散見されており、更なる調整や計画を期待したい。

評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

評価項目	自己評価	学校関係者評価
<p>I. 【教育理念・目標】</p> <p>理念・目的・育成人材像が定められているか、学校における職業教育の特色、将来構想が明確か、また、学生・保護者などへ周知されているかなどについての評価</p> <p>(小項目 5 項目)</p>	<p>3.6</p> <p>国立病院機構の理念のもと、看護師に必要な知識・技術・態度を教授し、国立病院機構及び社会に貢献しうる有能な看護実践者を育成することを掲げ、目的・目標に向けて邁進している。</p>	<p>3.6</p> <p>教育理念は国立病院機構の理念が反映されており、育成したい職業人増も教育目標に明示され、看護実践者を育てる教育内容となっている。</p>
<p>II. 【学校運営】</p> <p>目的、事業計画に沿った運営方針の策定、運営組織や意思決定機能が規則等において明確か、また、人事給与に関する制度の整備、コンプライアンス体制、情報公開などが適正におこなわれているかなどについての評価</p> <p>(小項目 8 項目)</p>	<p>4.0</p> <p>目的・事業計画に沿った運営方針の策定、人事・給与に関する制度等について国立病院機構及び母体病院当校の規程が整備されるなど適切に運営されている。</p>	<p>4.0</p> <p>目的・事業計画に沿った運営方針が策定されている。また、人事・給与に関する制度等について国立病院機構及び当校の規程が整備され適切に運営されている。業務の効率化については、学校業務マニュアルを基に役割や業務内容の確認ができ、効率化に繋がっていると思われる。</p>
<p>III. 【教育活動】</p> <p>教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等の策定、職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発、カリキュラム評価体制、指導体制、教員の確保などについての評価</p> <p>(小項目 16 項目)</p>	<p>3.9</p> <p>教員は、研修等の参加後、伝達講習を実施し学びの共有および教育実践に活用できるよう努力している。今年度は学校が丸となり、学生の思考を深めるよう実習指導方法や、授業の改善に取り組んでいる。研究助成金システムなど教員の研修・研究に対する体制が整っている。</p>	<p>3.9</p> <p>前年度の課題を明確にし、カリキュラムの見直しを行っている。学生の思考を深めるための学習会を臨床指導者と持ち、指導方法の検討を行い、効果的な実習指導に役立てている。</p>
<p>IV. 【学修成果】</p> <p>就職率の向上、資格取得率の向上、退学率の低減、卒業生・在校生の社会的な活躍および評価の把握などについての評価</p> <p>(小項目 5 項目)</p>	<p>2.8</p> <p>就職や国家試験対策などの資格習得率の向上に向けた取り組みをおこなっている。卒業生の卒業後の状況については機構病院では情報交換をおこなっている。進路変更による退学者がおり、退学率の低減が図れていない。</p>	<p>3.0</p> <p>進路変更による退学者がいるが、十分な面談等を行っており学生の進路に向き合っている。学生にとっての前向きな進路変更ができていることは評価できる。国家試験合格率は改善を要す。今年度より学力向上プロジェクトが計画されているため、更なる評価・修正がのぞまれる。</p>
<p>V. 【学生支援】</p> <p>進路・就職に関する支援体制、学生相談に関する体制、経済的支援体制、健康管理、課外活動に対する支援、生活環境の支援、保護者との連携などについての評価</p> <p>(小項目 10 項目)</p>	<p>3.9</p> <p>進路指導、学生相談などの支援、健康管理、奨学金および教育給付金などの経済支援を積極的におこなっている。</p>	<p>3.9</p> <p>県内国立病院機構 5 施設と連絡を取り合いながら卒業生の把握をしている。キャリアアップへの支援や研究活動支援等体制下が必要である。職業実践専門課程認定を受け、学生をサポートする体制が整えられている。</p>

<p><b>VI. 【教育環境】</b></p> <p>施設・設備についての整備、学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制の整備、防災に対する整備についての評価</p> <p>(小項目 3 項目)</p>	<p>3.0</p> <p>施設設備の整備、教材教具および図書などについては計画的に購入し、学習環境を整えている。しかし、災害時に対応できるような準備、体制づくりが必要である。</p>	<p>3.0</p> <p>設備整備、教材等購入計画が立てられ計画的に購入されている。図書については古くなってきているので専門書の整備が望まれる。</p>
<p><b>VII. 【学生の受け入れ募集】</b></p> <p>学生募集活動の適切な実施および成果について、学納金についての評価</p> <p>(小項目 3 項目)</p>	<p>4.0</p> <p>幅広く募集活動は継続しており、見学者は増加しているが応募者は増加していない。神奈川県下に学校が多数設置され、競争が激化しているため、学生確保および魅力ある学校づくりの対策が必要である。</p>	<p>4.0</p> <p>学校説明会の複数回の実施や、入学試験回数を増やす等、学生確保のための努力がされている。</p>
<p><b>VIII. 【財務】</b></p> <p>中・長期的な財政基盤、予算・収支計画、会計監査、財務情報公開の体制整備についての評価</p> <p>(小項目 4 項目)</p>	<p>3.2</p> <p>運営費交付金が削減され、神奈川県からの補助金交付の申請を行っているが安定的な財源確保に至っていない。</p>	<p>3.2</p> <p>自校の評価通り</p>
<p><b>IX. 【法令等の遵守】</b></p> <p>法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営、個人情報保護に対する対策、自己評価の実施と情報公開などについての評価</p> <p>(小項目 5 項目)</p>	<p>3.8</p> <p>指定規則を遵守し運営しているまた、学校の自己評価をおこない、ホームページ上で公開している。個人情報保護について学生に指導継続している。</p>	<p>3.8</p> <p>指定規則は遵守されている。個人情報保護規定は適時見直しを行っており、学生への指導も行っている。</p>
<p><b>X. 【社会貢献・地域貢献】</b></p> <p>学校の教育自然や施設を活用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動の奨励・支持、地域に対する公開講座、教育訓練の受託等についての評価</p> <p>(小項目 3 項目)</p>	<p>4.0</p> <p>地域に対する公開講座など計画的・積極的に実施している。今後、学生の自治会を通じてボランティア活動の奨励を継続する。</p>	<p>4.0</p> <p>高校生への進路相談会、学校見学の実施や中学校、高校を対象に職業講話を実施しており、積極的に活動している</p>
<p><b>XI. 【国際交流】</b></p> <p>留学生の受け入れ・派遣、学習成果が国内外で評価される取り組みについての評価。(但し、必要性に応じて)</p> <p>(小項目 4 項目)</p>	<p>2.0</p> <p>留学生を受け入れるための教員確保は困難であり、現状として留学生の受け入れは困難である。</p>	<p>2.0</p> <p>自校の評価通り</p>